

令和2年度 大分県産業科学技術センター 企業向け技術研修 一覧表 (詳細リンク先が準備中の場合があります。募集を開始しましたら、メール便・ホームページでお知らせします。)

No	担当	状態	テーマ名	詳細リンク先	概要	講師・説明者	開催日	開催場所	想定定員	受講料円/人	参加者数(延数)	
											企業・団体数	人数(A)
1	製品開発支援担当	実施済	低出力レーザー加工機活用セミナー(持ち込み素材のお試し加工を実施)	<a href="http://www.oita-ri">http://www.oita-ri</a>	センターで導入した低出力レーザー加工機は、CADデータに基づきアクリルや木材など厚さのある各種軟質素材の刻印や切断加工を行う装置です。【講義】機器の操作方法と、活用事例について説明します。【デモ】様々な軟質素材のデモ加工を行います。申し込み時に希望を確認し、参加者の持ち込む軟質素材の切断・刻印等のサンプル加工に対応します。	講義：製品開発支援担当職員 デモ：製品開発支援担当職員	令和2年6月19日(金) 13:30~15:00	G107	10名	無料	8	11
2		実施済	グッドデザイン賞 個別相談会	<a href="http://www.oita-ri">www.oita-ri</a>	グッドデザイン賞の応募をご検討、または応募手続きを進めていただいている方に、個別の応募対象について記入のポイントや応募カテゴリーなど、具体的なご相談をお受けする「個別相談会」を開催します。	講師：日本デザイン振興会 渡部明子氏	令和2年4月17日(金) 10:00~12:00 ※新型コロナウイルス対策でビデオ通話	C201	8名	無料	2	3
3		実施済	ソファ製品開発のための各社ソファ座り心地の傾向と対策(オーダーメイド型)		ソファ6点を試料として、製品の座り心地を分析するための体圧分布等の測定技術について研修実施。得られた、体圧分布や骨盤傾斜角などのデータを元に、各社ソファの座り心地の傾向と今後の対策案について説明。	製品開発担当職員	令和2年5月28日(木) 15:00~16:30	リモート開催	10名	無料	8	10
4		実施済	遊具・公園施設のための3D関連技術の活用方法について(オーダーメイド型)		①3DCADソフト、3Dレンダリングソフトの基礎研修 ②遊具・公園施設開発に合わせた応用研修	製品開発担当職員	R2.11.17,11.25		1	無料	1	1
		次年度へ延期	3Dプリンター活用セミナー		3Dプリンターの基礎/活用事例に関するセミナー 主に試作の用途で活用されている3Dプリンターについて、概要、最新動向、生産現場における活用事例を紹介	講師：株式会社リコーAM事業センター 三浦 邦博 氏	次年度へ延期	第1研修室	30名	無料		
5	電子・情報担当	実施済	「EMC規格オンラインセミナー～移動型ロボットおよび医療福祉機器～」	<a href="http://www.oita-ri">http://www.oita-ri</a>	EMCに対する重要性の高まりから規格の整備が進んでいますが、製品ごとに要求される規格は様々で、試験方法も異なります。本セミナーでは、移動型ロボットおよび医療福祉機器に焦点を当て、EMC規格と必要となる試験についてご講演いただきます。	株式会社東陽テクノ EMCマイクロウェーブ計測部 INARTE 認定EMCエンジニア 生田 純也 氏	令和3年2月26日(金) 10:00~12:00	ZOOMによるオンライン配信	20名	無料	8	8
6		受付終了	ものづくり現場におけるAIの活用講習会	<a href="http://www.oita-ri">http://www.oita-ri</a>	AIに関する高度な知識やプログラムの作成を必要とせず、画像による識別(例：良品/不良品、部品A/部品B、など)を実現するAI関連ツール「Microsoft Lobe」についてご紹介いたします。また、各参加者の現場で撮影した画像を用いて、ツールの操作や活用方法を体験していただきます。	電子・情報担当 職員	随時募集(1社ごと個別対応、先着3社程度、約2時間以内/回)	センター内、またはネット会議システム活用	2~3名/回	無料	5	5
	電磁力担当	次年度へ延期	金属の残留応力測定講習(オーダーメイド型)		X線残留応力測定装置の基本事項や主な機能について説明し、実際に金属試料を観察することにより操作手順を習得します。	電磁力担当職員	次年度へ延期	センターD104	3名程度	無料		
7		実施済	ISO/IEC17025システム構築基礎セミナー	<a href="http://www.oita-ri">http://www.oita-ri</a>	ISO/IEC17025:2017システムの運用に新たに関わられる方(要員教育を含む)、規格の理解を深めたい方を対象にISO/IEC17025システム構築基礎セミナーを開催します。	JFEテクノリサーチ株式会社ビジネスコンサルティング本部 ビジネスサポートマネジメント支援Gr 委託研究員(JAB登録審査員)	令和2年7月28日(火) 9:30~16:30	センター第1研修室	20名	無料	6	21
8		実施済	実習で学ぶはじめての電磁界解析セミナー	<a href="http://www.oita-ri">http://www.oita-ri</a>	磁気を活用する機器やセンサなどの設計開発に、電磁界解析は欠かせません。そこで、電磁界解析の始めの一歩として、タブレット端末やスマートフォンでモータの設計や基本特性計算を行える支援ツール「JMAG-Express Online」を利用した体験セミナーを開催します。JMAG-Expressを実際に操作しながら、電磁界解析の流れや有用性を体感していただけます。本セミナーは、電磁界解析をはじめとする初級者向けの内容です。	株式会社JSOL JMAGビジネスカンパニー 瀬々英里氏	令和2年12月15日(火) 13:10~15:10	オンライン	10名程度	無料	4	10
9	実施済	パワーエレクトロニクス機器の電力・高調波測定装置と評価装置の基礎	<a href="http://www.oita-ri">http://www.oita-ri</a>	今年度当センターに導入した、パワーエレクトロニクス機器の電力測定や解析に有用なパワーアナライザ(横河計測WT5000他)と、開発機器や素子の評価等に活用できるパワーアンプ(PMK SY-5001)の最新技術と活用の方法、アプリケーション事例について、分かりやすく解説します。【講義】電気計測のための基礎知識 【実習】パワーアナライザ、パワーアンプ	横河計株式会社 中込 征仁 氏 岩崎通信機株式会社 成田 秀正 氏	令和3年3月18日 13:00~16:30	センター第1研修室	20名	無料	7	14	
	機械担当	中止	三次元測定機による精密測定技術セミナー		三次元座標測定機はサブミクロンの精度を有する高性能な測定機であるが、その性能を正しく生かすためには、測定に伴うできることできないことを十分に熟知しておく必要がある。本セミナーでは、～中級者までの技術者向けに、三次元測定機を使用するうえで注意しておきたいことを、具体的な事例を混ぜながら解説する。	未定	中止	未定	未定	未定		
10	金属担当	実施済	顕微鏡観察・硬さ測定等の評価試料作製および評価技術の研修(精密切断機などの活用研修)	<a href="http://www.oita-ri">www.oita-ri</a>	顕微鏡観察や硬さ測定等を行う際に必要となる評価試料作製方法を個別に持ち込まれた試料を用いた作製実習を通して習得します。また、試験機を用いて評価試験の実習を行い、試験方法を理解・習得します。1.評価試料作製と評価試験に必要な知識の説明(約30分) 2.評価試料の作成(実習、約3時間(評価目的、試料の種類等により異なる)) 3.評価試験の実習(1時間) 使用機器：精密切断機(今年度更新)、試料理込機、自動研磨装置、デジタル金属顕微鏡、マイクロスコプシステム等	金属担当職員	随時募集 令和3年2月26日まで(事前の日程調整要)	センター材料開発棟	1回につき3名以内 原則1人1回	1,200	2	6
11		実施済	分かりやすい卓上型走査電子顕微鏡セミナー	<a href="http://www.oita-ri">http://www.oita-ri</a>	平成30年度JKA補助により導入した卓上型走査電子顕微鏡は、コンパクトながら豊富な機能やオプションが付いており、各種材料表面の微小部観察や元素分析を手軽に行うことができることから、県内に集積する自動車、半導体、医療機器、機械・金属等の幅広い分野で利用が期待されています。本セミナーでは、卓上型走査電子顕微鏡の基礎から操作方法まで分かりやすく解説するとともに、きれいな画像を取得するためのテクニックやデータの見方といった応用的な内容もデモ機による実演の中で行います。	(株)日立ハイテクノロジーズ 及びブルカー・ジャパン(株)の技術者	令和2年11月27日 13:15-16:55	センター第1研修室ほか	10人	無料	7	9
12		実施済	3Dものづくりのための高性能マイクロフォーカスX線CTシステム導入セミナー	<a href="http://www.oita-ri">http://www.oita-ri</a>	平成30年度補正予算「地域新成長産業創出促進事業費補助金(地域未来オープンイノベーション・プラットフォーム構築事業)」で導入する高性能マイクロフォーカスX線CTシステムのキックオフセミナーとして、X線に関する基礎知識から当該システムの特徴に至るまで、活用事例を交えながらわかりやすく解説するとともに、3Dプリンタの普及により注目の集まるデジタルエンジニアリングへの活用等、最新の技術情報についても紹介します。	導入システムメーカーの技術者	令和2年7月31日 13:30~16:00	センター第1研修室ほか	25人	無料	7	11

令和2年度 大分県産業科学技術センター 企業向け技術研修 一覧表 (詳細リンク先が準備中の場合があります。募集を開始しましたら、メール便・ホームページでお知らせします。)

No	担当	状態	テーマ名	詳細リンク先	概要	講師・説明者	開催日	開催場所	想定定員	受講料円/人	参加者数(延数)	
											企業・団体数	人数(A)
13		実施済	高速度カメラ出張技術講習会	<a href="http://www">http://www</a>	高解像度ハイスピードカメラ(平成23年度導入)の取扱技術・現場での活用ノウハウの向上を図るため、個別対応型の研修を行います。1回あたり1時間程度(前半:基本操作講習、後半:応用操作講習)	金属担当職員	随時募集 令和3年2月28日まで (事前の日程調整要)	センター敷地内 または現地企業 (県内のみ)	1回につき3 名程度(原則 1社1回)	無料	4	14
		次年度 へ延期	サーモグラフィ出張技術講習会 (実施検討中)		赤外線サーモグラフィ(平成24年度導入)の取扱技術・現場での活用ノウハウの向上を図るため、個別対応型の研修を行います。1回あたり1時間程度(前半:基本操作講習、後半:応用操作講習)	金属担当職員	未定 次年度へ延期 随時募集 令和3年2月28日まで (事前の日程調整要)	センター敷地内 または現地企業 (県内のみ)	1回につき3 名程度(原則 1社1回)	無料		
	工業化学担当	次年度 へ延期	ラボ汎用機器の安全な取り扱い		ラボで使用する汎用機器は特に意識することなく使用していますが、これら機器にもリスクが潜んでいます。このセミナーでは「機器を正しく安全に使用するためのポイント」などを解説します。知識の再確認、再発見をして安全に実験することを目指すセミナーです。新人教育やスキルアップにご参加ください。 ・ラボ汎用機器の安全講習 ・ドラフトチャンバーの使用法と注意点、メンテナンス	調整中 (ラボ機器メーカーから講師招へい)	次年度へ延期	センター 第1研修室	20名	無料		
		次年度 へ延期	ICP発光分光分析装置セミナー		機器の利用促進を目的に、ICP発光分光分析装置の測定原理、装置紹介、関連する技術動向などの座学と装置のデモを行う。関連する他の機器(ICP-MSなど)の紹介、見学。	座学・デモ:メーカー技術者 見学:工業化学担当研究員	センター 第1研修室	30名	無料			
14	工業化学担当	募集中 随時	イオンクロマトグラフセミナー	<a href="http://www">http://www</a>	今年度更新したイオンクロマトグラフの一般的な操作方法の実演・実習を行う。 ①測定試料の調製方法 ②イオンクロマトグラフIntegriion(インテグリオ)の操作方法について	実習:工業化学担当研究員	随時募集 令和3年3月末まで (事前の日程調整要)	センター B305	1~3名	無料	5	9
		次年度 へ延期	FT-IRセミナー		FT-IRは主に有機物の分析に用いられ、プラスチック成形・自動車・半導体・医療機器など、幅広い業界異物分析、品質管理及び研究開発用途等に利用されています。本セミナーでは、FT-IR分析について基礎から学ぶことができる講義やサンプルリングから分析までを実演するワークショップ等を予定しています。	サーモフィッシャーサイエン ティフィック株式会社 装置担当者	次年度へ延期	センター 第1研修室 C303	20名	無料		
		次年度 へ延期	静荷重試験機セミナー		静荷重試験機は本来素材の試験を主に行うものでありますが、ここ数年は製品の安全性に対する意識の高まりから、JIS等規格以外の試験まで行うようになりました。本セミナーでは、静荷重試験機を基礎から学ぶことができる講義や、破壊試験を実演するワークショップ等を予定しています。	インストロンジャパンカンパニ イリミテッド 装置担当者	センター 第1研修室 C303	20名	無料			
15		実施済	微生物検査技術研修	<a href="http://www">http://www</a>	「食の安心・安全」のためには、食品製造所内の清浄度の向上や製造段階の生菌数の低減、流通段階での微生物制御が重要となるため、微生物検査の考え方や試料の取り扱い、培地の調製法など実技を中心とした技術研修を行います。	食品産業担当	随時募集 令和3年2月まで (1社毎個別対応) 平日9:00-12:00または 13:30-16:30	センター内	2~3名 /回	無料	6	9
16		実施済	食品の賞味期限・消費期限設定のポイントとその方法	<a href="http://www">http://www</a>	賞味期限・消費期限の設定は、食品の特性、品質変化の要因や原材料の衛生状態、製造工程での衛生管理、容器包装の形態、流通・保存環境など様々な要素を勘案し、科学的、合理的に行うことが必要です。そこで、賞味期限・消費期限設定の際の基礎と留意すべきポイントと併せて、科学的根拠になりうる微生物試験、理化学試験、官能試験等の設定方法を、実技を交えて個別に解説します。	食品産業担当	随時募集 令和3年2月まで (1社毎個別対応) 平日9:00-12:00または 13:30-16:30	センター内	2~3名 /回	無料	4	6
17	食品産業担当	実施済	食品の品質管理技術向上のための機器分析	<a href="http://www">http://www</a>	自社製品の品質維持、向上のためには、まず製品毎の特性を知ることが鍵となります。その評価の手法として機器分析を取り入れることができれば、「安全・安心」な製品を安定的に生産することが可能となります。そこで、品質評価のターゲットとなる成分を見極め、その分析技術導入のための支援を総合的に行う研修を、各社の要望に対応した内容で個別に実施します。	食品産業担当	随時募集 令和3年2月まで (1社毎個別対応) 平日9:00-12:00または 13:30-16:30	センター内	2~3名 /回	無料	4	9
18		実施済	適切な食品表示のための技術研修	<a href="http://www">http://www</a>	食品表示法の経過措置期間が1年を切り、適切な食品表示を行うことが必要です。食品表示には幅広い記載内容があり、製造業者の規模や販路などに応じて、対応すべき点も異なります。そこで、食品表示法の概要、表示の基本的な内容から、注意すべき点を解説し、食品表示の項目、内容について、各企業の商品に対応した個別の表示確認、指導を実施します。	食品産業担当	随時募集 令和3年2月まで 平日9:00-12:00または 13:30-16:30	センター内	2~3名 /回	無料	8	11
19		実施済	第1回食品加工技術高度化研修 HACCP導入に向けて その2 (一般衛生管理)	<a href="http://www">http://www</a>	HACCPを導入する前に、最低限行わなければならない「一般衛生管理について」の講演を行い、食品関係者がスムーズにHACCPに沿った管理へ移行できるよう誘導する。	大分県食品衛生協会 理事兼事務局長 河野 昭二氏	令和2年11月26日 13:30-16:00	センター 多目的ホール	50名	無料	27	34
		中止	第2回食品加工技術高度化研修		未定		中止	センター内				